

地区とのタウンミーティング 議事概要

日 時	令和8年2月27日（金）午後7時～午後8時
地 区	向井田地区
場 所	向井田集会所
参加人数	15人

テーマ1 一中跡地活用について

主 旨（区長）

- 今後一中跡地に整備される建物が向井田地区の避難所（防災拠点）になるため、地区としても重要なテーマであると考え、議題として提案した。
- 今後の整備方針や現在の進捗状況等の説明をお願いしたい。

市 長

- 現在、緊急防災減災事業債を活用して、旧第一中学校校舎の解体を進めている。跡地については、地域からの意見等も踏まえ、避難所や防災公園、消防団車庫、防災備蓄倉庫等として整備したいと考えており、平時には避難所は体育館として利用することを検討している。
- 第一中学校跡地前の道路は、避難経路として緊急防災減災事業債を活用して拡幅する予定である。
- 運動場には、ルクセンブルクパビリオンの部材を活用して子どもが室内で遊べる子育て支援施設と、芝生広場兼テニスコートの整備を予定している。現在、駐車場部分も含めて国の地域未来交付金の申請をしており、採択されれば整備費用の6割ほど補助が受けられる見込みである。
- 現時点での向井田地区における指定避難所はみらい学園であり、一中跡地の避難所が完成すればそちらが指定避難所になる予定だが、市は避難先を制限するつもりはないため、どこに避難していただいても構わない。

意 見

- 芝生広場兼テニスコートについて、天然芝は維持費用やメンテナンスの手間が非常に大きいですが、砂入り人工芝のコートは検討していないのか。
→ [市長] 芝生広場兼テニスコートについては砂入り人工芝を想定しており、緑色の砂を入れることで、全体が芝生広場のように見えるようにしたい。
- 芝生広場として使用したいときと、テニスコートとして使用したいときのいずれの場合でも申請が必要なのか。それとも、行ったときにテニスの予約が入っていなければ使えるということか。
→ [市長] 芝生広場兼テニスコートについては、テニスだけでなく、グラウンドゴルフやゲートボール場としても活用でき、使用する際は市の施設予約システムを使用することを想定している。予約が入っていない時には、多目的広場として一般開放したいと考えており、将来的には夜間照明も設置する予定である。

- 体育施設等の整備もありがたいが、文化活動の方も支援をお願いしたい。
→ [市長] 一中跡地のテニスコート整備にあたっては、私部公園と倉治公園のテニスコートを返還し、避難所（体育館）も青年の家の体育館を除却して整備するため、市全体の体育施設の総量は増えない。今後、星の里いわふねの音響改善等にも取り組んでいく。
- 一中跡地の避難所の収容人数は何人ぐらいを想定しているのか。また、防災備蓄倉庫の貯蔵量は十分なのか。緊急時には防災公園やテニスコートにもテントを張るのか。
→ [市長] 避難所の収容人数は約100人を想定しており、規模としては十分だと考えている。防災備蓄倉庫はあくまで市内複数個所に設置するうちの一つであり、全体的には問題ないと考えている。防災公園の仕様や活用方法については、様々な意見を取り入れて反映していきたい。

テーマ2「向井田のバス停車について・一中跡地活用後のバス停車について」

主旨（区長）

- 向井田地区の住民から、向井田地区にもおりひめバスを通してほしいという要望が出ている。
- 今回、市長からの配布資料で今後のバス路線の見直し案が示され、向井田地区にもバス停ができる予定とされているが、その内容説明と、見直し案に関する意見交換をお願いしたい。

市長

- バス停の見直しにあたり、向井田地区については、向井田集会所の前にバス停を設置するほか、集会所の西側に、河内磐船駅方面へ向かう第二京阪道路の高架下のバス停と、河内磐船駅から向井田集会所方面へ向かう第一中学校跡地前のバス停を設置する。将来的に第一中学校跡地整備が進めば、道路が拡幅されるので、高架下道路の両側に上り下り両方のバス停を設置できる見込みである。
- 交野市駅まで行けるのが理想だが、駅西側のロータリー側まで回ると、1本あたりの運行時間が1時間を超過し、運行計画に支障が生じるため、現時点では交野市役所止まりのルートとなっている。今後、交野市駅東側の開発に伴い道路が拡幅され、バス停も設置できるようになる。新ルートについては、補助金申請の関係で7月からのスタートを想定している。
- 市の外出支援制度を来年度4,600円から6,000円に拡充することも併せて、今よりも利便性が向上する見込みである。今後も市民の声を聴きながら、更なる改善に取り組んでいく。
- 利用されないルートやバス停は、市としても廃止せざるを得ないため、できるだけ積極的に利用してほしいと考えている。そのために、将来的により良いルートとなるよう、改善を続けていく。

意見

- おりひめバス路線の見直しにより、利便性が向上することで利用者も増加することが予想されるため、ワゴン車では乗り切れない人も出てくるのではないかと。
→ [市長] 車両を10人乗りから14人乗りのワゴン車に変更する予定であり、乗客の積み残しが発生することはないと考えている。それでも不足する場合は、小型バスや中型バスの導入も選択肢になり得るが、非常に高額になるため、慎重な検討が必要である。

- おりひめバスが今後も継続して走れるのか気になっている。現在の運営はどのような状況か。
→ [市長] おりひめバスの運行には年間2億円の費用が必要だが、運賃収入は全体で5,000万円程度である。補助金分を加味しても赤字だが、そもそも黒字化を目指している事業ではないため、費用面より公共交通の維持継続や利用率の向上が重要である。多様な施策により、年間3億円以上の財源確保もできているところであり、1億5,000万円程度の支出は許容範囲だと考えている。
- おりひめバスは歩行困難な人が優先されるものと思っていたが、今回の話を聞いて、誰でも乗っていいのだとわかった。ぜひ乗ってくださいと言ってもらえたので、今後、積極的に利用したい。
- 7月からの詳細なバス停の位置図等は早めに公表してもらえれば、周知にも協力できると思う。わかりやすい地図の作成をお願いしたい。